

## 2、イスラーム世界の発展

### ○東方イスラーム世界

\* 【 】・・・アッバース朝カリフに仕えたトルコ人奴隷の親衛隊

【 】朝 アラル海周辺、【 】人

マムルーク採用、スンナ派

1055 始祖【 】が【 】朝を倒し【 】入城

<ブワイフ追い払い、日は煌々>

→アッバース朝カリフから【 】の称号

\*スルタン（支配者）・・・宗教的権威をもつカリフに対し、  
世俗（政治）的支配権を持つ者。  
スンナ派イスラームが用いた称号。

946	ブワイフ朝（シーア派）	大アミールの称号
-----	-------------	----------

1055	セルジューク朝（スンナ派）	スルトンの称号
------	---------------	---------

【 】建設・・・スンナ派の神学と法学を奨励

\* 【 】が建設し【 】と呼ばれる

シリアの海岸地帯（小アジア）に進出し、ビザンツ帝国圧迫

→ヨーロッパのキリスト教団が十字軍をおこす原因に

【 】朝・・・中央アジア最初のトルコ系イスラーム王朝

中央アジアにイスラーム文化導入し、イスラームに改宗

【 】朝・・・アフガニスタン

北インドへの侵入開始

1258 【 】率いるモンゴル軍がバクダードをおとし入れる

<人にいばるはフラグさん>

→アッバース朝滅亡

→カリフ制度、いったん消滅

【 】は【 】国ひらく。首都：タブリーズ

→【 】のとき、イスラーム教を国教に定めた

\*イラン=イスラーム文化の成熟

cf) ラシード=ウッディーン 『(蒙古) 集史』・・・モンゴル民族の歴史書



ムラービト朝、黒人王国ガーナを破る

↓

内陸アフリカにイスラーム教をひろめる端緒に

イベリア半島、最後のイスラーム王朝【                   】朝

わずかに【                   】とその周辺地域を保つ

\*イブン=ハルドゥーン仕えた

1492 スペイン王国がグラナダを陥れ、イスラーム教徒は北アフリカに引き上げる

<意欲に燃えるコロンブス と同年！>

\*【                   】宮殿

### ○イスラームの国家と経済

古代オリエント時代：貨幣の使用

ウマイヤ朝、アッバース朝：貨幣+現物で租税を徴収

官僚・軍隊には予算にもとづき、現金の俸給

(今まで・・・いったん政府にお金がいき、政府から俸給)

\*カリフの力、官僚制

ブワイフ朝：【                   】採用。軍人に【                   】あたえる

\*中央政府の勢力の弱まり！農民からの税を自分の給料に

【                   】は【                   】を結んで香辛料の交

易やイスラーム教の伝播